

自分で出したごみと資源について調べよう



自分が出したごみと資源について、どんなものがあったのか調べてみるで！
どんなものがあるんやろ？ おうちの人も協力して、やってみてな！

ごみと資源をどれくらい出しているのか、「しるし」を入れて記録してみよう！
多い日は◎、少ない日は○を書いてみてね。



ごみと資源の種類	調べた日	調査月の第4日(月)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)
生ごみ(台所のごみ)		◎							
紙くず(プリントや包み紙)		◎							
レジ袋		○							
缶									
びん									
ペットボトル		○							
本・雑誌・新聞紙									
お菓子や野菜・商品が入っていたプラスチックの袋など		○							
牛乳やジュースのパック		○							
食品トレイ		○							
布・衣類・タオルなど									
プラスチックの製品(おもちゃ、ペンなど)		○							
大きなごみ・家具・家電など									
その他(どんなものか書いてね)		うんどう べつ ティッシュ							

どんなごみや資源が多かった？
想像したより多かったものはあったかな？

.....

.....

.....

.....

調べてみて、気づいたこと、
考えたことなどを書いてみてね。

.....

.....

.....

.....

ポイント

1.1日にどんな種類のごみをどれくらい出しているのか「調べる」体験をしてみましょう。
書き出した結果から、

- ①資源としてリサイクルできるものは、あるか。どんなものか。
- ②ごみを減らす工夫はできそうか。

などを、児童が考える機会にしましょう。

2.ごみだけでなく、ペットボトルや紙などリサイクルできる資源についても調べましょう。資源としてリサイクルされるものも「リデュース(減らすこと)」が大切です。

※このページは、児童自身が日々の生活の中で排出するごみについて「調べる、知る、意識する」ことを目的としています。調べた内容を授業内で共有したり他の児童と比べることを意図したものではありません。
個人情報等の観点から、それぞれの家庭での実施が難しい場合は、学校で捨てられたごみを調べる等、調べ方を変更・工夫していただいても、構いません。

メモ

ごみを減らすために

ごみ問題を根本的に解決していくには、毎日の生活の中で、できるだけ「ごみを出さない」ことが大切です。

ごみを減らすことができる例としては・・・

- ①紙コップや紙皿、ペーパータオル、プラスチックスプーンやフォークなどの使い捨て製品は極力使用しない。
- ②こぼれたものをふき取る時は、ティッシュペーパーを使わず、雑巾や台布巾などを使う。
- ③買い物に行くときはマイバッグを持っていく。また、過剰包装に対して「いりません」と断る。
- ④食料品を買うときは、事前に冷蔵庫などの在庫を確認し、計画的に買う。
- ⑤食事を残さない。